

## 熱い火花散らす溶接技術大会

7月27日、宮崎県溶接技術競技会小林地区大会が行われました。【以下結果・敬称略】**■アー**ク溶接の部**▼個人・優勝…三原省一郎▼団体・優勝…碓山鉄工建設(株)** **■半自動溶接の部▼個人・優勝…出水孝政▼団体・優勝…(株)タネダ**



## 元プロバレーボール選手から技学ぶ

7月28日、元プロ選手が講師を務めるバレーボール教室が、えびの市真幸地区体育館で行われました。小林の小中学生や指導者ら305人が参加。元全日本選手の江藤直美さん、多治見朝子さんの2人が、アタックやレシーブなどを指導しました。



## 大物の魚を捕まえ笑顔

7月28日、出の山名水ホテル館で魚のつかみ取り大会が開催されました。特設のプールに準備されたのは、約2,000匹のマスやヤマメ、コイ、ウナギなど。未就学児や小学生ら約300名が参加し、素早く動く魚を一生懸命追いかけていました。



## 文化連盟50周年コンサート会場満席

8月3日、市文化連盟設立50周年を記念したコンサートが文化会館で開催されました。800人が来場し、所属の4団体がシャンソンやコーラスなど美しい歌声を披露。市出身のテノール歌手内之倉勝哉さんも登場し、50周年を祝いました。



## 中学生が赤ちゃんふれあい体験

赤ちゃん健診の見学や母親との対話などで、子どもを産み育てることの大切さや素晴らしさを学ぶ体験が8月2日、保健センターでありました。参加した西小林中の壱岐ひなたさんは、「お母さんの大変さが分かった」と感想を話しました。



## 県道26号改良などを要望 市内団体代表者ら知事と対話

8月26日、知事と県民が対話を行う「知事とのふれあいフォーラム」が養護老人ホーム慈敬園で開催されました。市内28団体の代表者が参加。県道26号宮崎・須木線の改良や、商業高校跡地の取得、商店街の支援策など、市の課題について多くの要望が出ました。



参加者からの意見や要望に答える河野俊嗣知事。県道26号について「自然保護に観点を置き、検討していきたい」と答えていました

## 山々に響く花火に大歓声 小林市すき納涼花火大会

8月10日、小林市すき納涼花火大会が須木中学校で開催され、市内外から約2万人が訪れました。メインイベントは山々に大きく反響する迫力満点の花火。会場近くの川沿いから打ち上げられる約7,000発の花火が頭上高く夜空を彩ると、会場からは歓声と大きな拍手が起こっていました。



ステージでは、コーラの早飲みや須木地区の子どもたちによる「いちよ太鼓」の演奏などが行われ会場を盛り上げていました



たわわに実ったナシを収穫する園児。観光農園についての問い合わせは、小林市観光協会（電話22-8684）まで

## 今年もブドウ・ナシがたわわ 観光農園がオープン

8月2日、坂下地区観光農園の開園式が海蔵梨園で行われました。海蔵智裕さんは「天候に恵まれ、ブドウ、ナシともに順調の出来。多くの品種を取り揃えているので、旬の味覚を味わい、夏を乗り切ってほしい」とあいさつ。式後は、永久津保育園の園児らがナシ狩りを体験しました。



名物の名水カーリング。また、ふれあい広場では、多くの家族連れが屋台やステージイベントを楽しんでいました

## 暑い夏にひとときの涼を こばやし名水夏まつり2013

8月3日、こばやし名水夏まつりが小林駅前広場などで開催されました。的をめぐり漬物石を滑らせる「名水カーリング」や背中に背負った水風船をキャッチする「キャッチザ水風船」など水にちなんだ各種イベントを実施。参加者は暑い夏にひとときの涼を楽しみました。

## 食を求め、大賑わい 赤松通商店街で土曜夜市

7月20日、土曜夜市が赤松通商店街で開催されました。主催は、商店街を盛り上げようと集まった若者中心の土曜夜市実行委員会。通りや広場では、大ビアガーデン、屋台村やお店を巡って食べ比べる「BAR(バル)」を開催し、限定200食でチョウザメ寿司の振る舞いも行われました。



歌やダンスなどのステージイベントや、子ども向けのミニゲーム、ストライダー教室も開催されました

## 一貫教育と学力向上を目指し 教育フォーラム開催

8月9日、教育フォーラムが文化会館で開催されました。市内小中学校の教員ら400人が参加し、事例発表や講演などで小中一貫と学力向上について理解を深めました。講演は、文部科学省の磯部年見調査員が登壇。全国学力・学習状況調査の結果を授業に生かす具体策などを説明しました。



事例発表を行う西小林中の教員ら。同日の午前には、県内のスパーティーチャーなどを講師に招いて教員の研修が行われました